

モルックで 親睦深める

県身体障害者福祉会

県身体障害者福祉会はこのほど、障害者向けの「モルック体験会」を静岡市葵区の県総合社会福祉会館で開いた。県内各地から集まった35人がフィンランド発祥のニュースポーツを通じて親睦を深めた。



モルックに熱中する参加者＝静岡市葵区の県総合社会福祉会館

モルックは木製の棒を投げて数字が書かれたピンを倒し、倒した本数やピンに書かれた数字を競う。参加者らは準備体操を入念に行い、ルール説明を受けた後、3人ずつのチームに分かれて競い合った。

それぞれのピンの位置をしっかりと見定め、どのピンを狙えば高得点につながるかを考えながら棒を投げた。狙ったピンが倒れると「やった!」と歓声が上がり、参加者はガッツポーズやハイタッチをしながら全身で喜んだ。

聴覚に障害がある藤枝市の増田小夜子さん(83)は「手話通訳もあり、ルールを理解しながら全力で楽しめた。年を忘れるくらい熱中した」と手話を使って笑顔で答えた。